

過去問題

かいごぎのうじっしゅうひょうか しけん  
介護技能実習評価試験

せんもんきゅう がっか しけんもんだい  
【専門級】学科試験問題

もん  
(30問)

じゅけんばんごう 受検番号	
なまえ かたかな 名前 (カタカナ)	

つぎ ぶん ただ まちが かいとうようし こた なか か  
次の文が正しければ○、間違いなら×を解答用紙の「答え」の中にも書きなさい。

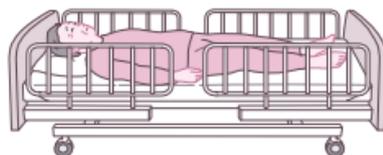
れいだい  
例題)

1. りんごはくだものです。

もんだいばんごう 問題番号	こた 答え
1	○



1. <sup>りようしゃ お</sup>利用者が降りられないように<sup>べっど まわ さく かこ</sup>ベッドの周りを柵で<sup>しんたいこうそく</sup>囲うことは、身体拘束になります。



2. <sup>じぶん かみ あら</sup>自分で髪を洗うことができなくなった<sup>りようしゃ かみ</sup>利用者の髪は、<sup>あら</sup>洗いやすいように<sup>みじか</sup>短くします。

3. <sup>かいごしょく め み</sup>介護職は、<sup>りようしゃ はな</sup>目が見えない利用者<sup>き</sup>と話するとき、よく聞こえるように<sup>みみもと おお こえ はな</sup>耳元で大きな声で話すとよいです。

4. <sup>りようしゃ き も</sup>利用者の気持ちを<sup>かくにん</sup>確認しないで<sup>しえん</sup>支援をすることは、<sup>りようしゃ せいかつ</sup>利用者の生活意欲を<sup>ていか</sup>低下させます。

5. <sup>えいよう すいみん</sup>栄養と睡眠がとれていれば、<sup>なが あいだ</sup>長い間<sup>がしやう</sup>臥床していても、<sup>きのう ていか</sup>こころとからだの機能が低下することはありません。

6. <sup>こうくうけ あ あと</sup>口腔ケアの後、<sup>こうくうない</sup>口腔内を<sup>かくにん</sup>確認し、<sup>いじょう</sup>異常があった場合は<sup>ばあい</sup>医療職に<sup>いりようしょく</sup>報告します。<sup>ほうこく</sup>

7. <sup>りようしゃ ぎし</sup>利用者の義歯を外すときは、<sup>はず</sup>手袋<sup>てぶくろ</sup>を着用しなくてもよいです。<sup>ちやくよう</sup>

8. <sup>かみ ととの</sup>髪を整えるために、<sup>ぶらっしんぐ</sup>ブラッシングをすると<sup>とうひ けつえき なが</sup>頭皮の血液の流れがよくなります。

9. <sup>りようしゃ ベッド</sup>利用者がベッドから<sup>くるま</sup>車いすに移乗した後、<sup>いじょう あと あんてい ざい</sup>安定した座位になるように、<sup>りようしゃ くるま</sup>利用者に車いすに  
<sup>ふか すわ</sup>深く座ってもらいます。

10. <sup>ほこうき かたまひ</sup>歩行器は、<sup>りようしゃ あんてい</sup>片麻痺のある利用者が<sup>ほこう</sup>安定した歩行をするための<sup>ようぐ</sup>用具です。



11. <sup>かたまひ</sup>片麻痺のある<sup>りようしゃ かいだん お</sup>利用者が<sup>かいごしょく</sup>階段を下りるときは、<sup>りようしゃ かいだん いちだんした</sup>介護職は利用者がある<sup>かいだん いちだんした</sup>階段の一段下から、  
<sup>みまも</sup>見守ります。

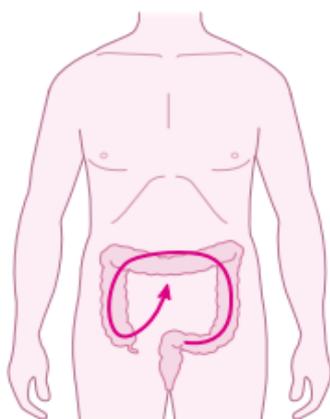
12. <sup>りようしゃ しょくじ しせい</sup>利用者の食事の姿勢は、<sup>ふか すわ</sup>いすに深く座って<sup>あし うら ゆか</sup>足の裏が床につくようにするの<sup>ただ</sup>が正しいです。

13. <sup>くちびる した かんそう</sup>唇や舌が乾燥しているときは、<sup>だっすいじょうたい ちゅうい</sup>脱水状態に注意します。

14. 食事の介護では、観察しやすいように、介護職は利用者の正面に立ちます。

15. 利用者の髪の毛を乾かすとき、火傷をしないように、ドライヤーを頭皮に近づけすぎないようにします。

16. 清拭をするとき、腹部は腸の動きと反対方向に拭くとよいです。



17. 浴槽に入りやすくするため、シャワーチェアの高さは浴槽の高さよりも低くします。

18. 排泄の介護では、利用者の排泄物を確認し、記録します。

19. 排泄の介護では、利用者それぞれの排泄パターンを理解し、個別に介護の方法を考えます。

20. これは男性がベッド上で排尿するときに使用する用具です。



21. 介護記録には、利用者の状態や行った介護とその理由がわかるように記録します。

22. 利用者の顔を覚えるために、介護職は自分の携帯電話で利用者の写真を撮ってもよいです。

23. 利用者の衣服を棚にしまうとき、利用者の管理しやすい方法を確認してからしまいます。

24. 介護職は、記録、申し送り、会議などで他の職員と情報を共有します。

25. 食器が持てない利用者には、食器が滑らないように滑り止めマットを使うと食べやすいです。



26. リクライニング式車いすは、背もたれを倒すことができる車いすです。



27. 介護職は災害が起きたときのために、避難経路を確認しておきます。

28. 介護職がインフルエンザウイルスに感染したとき、マスクをすれば、利用者の介護をしてもよいです。

29. 居室の床に膝をつくとき、介護職自身が感染源となる危険性があります。

30. 感染症を予防するために、施設内は、換気、消毒をします。

かいごぎのうじしゅうひょうかしけん  
介護技能実習評価試験

せんもんきゅう がっかしけんもんだい かいとうようし  
【専門級】学科試験問題 解答用紙

じゅけんばんごう 受検番号	過去問題
なまえ 名前	

もんだいばんごう 問題番号	こた 答え
1	○
2	×
3	×
4	○
5	×
6	○
7	×
8	○
9	○
10	×
11	○
12	○
13	○
14	×
15	○

もんだいばんごう 問題番号	こた 答え
16	×
17	×
18	○
19	○
20	×
21	○
22	×
23	○
24	○
25	○
26	○
27	○
28	×
29	○
30	○

<事務局欄>

問題用紙確認	合計得点	試験結果	
		合格	不合格